

総合かがく展に作品を応募しよう！！

(3～6年生用)



＜総合かがく展とは＞

今年で第55回となる「藤沢市総合かがく展」では、小学生・中学生の「自然」「生き物」「科学」などの自由研究作品の中で、学校で推薦された作品を数多く展示します。新江ノ島水族館などの展示もあります。みなさんも自由研究に取り組んで、総合かがく展に作品を出しましょう！

「自由研究（自然、生き物、科学などの研究）」って何をしたらいいの？



①テーマを決める…まずは、何を研究するか決めよう！

- 「自然」や「生き物」「科学」などで疑問に思ったことや興味のあることから…。
- 「学習したこと」の中で、もっと調べてみたいことから…。
- 「自分たちの住む地域の自然」の中から…。
→「藤沢の自然」を調べてみよう！身近な地域の自然を調べると、本や図鑑に書いてあるのとは、まるで違う世界が広がっているよ！
- 環境保護や省資源など、身近な環境について調べてみよう。自然を守り、くらしを豊かにするよりよい方法が見つかるかも。



②計画を立てる…研究の進め方を考えよう！

- (1) 「予想」…どんな結果になるか考えよう。
- (2) 「方法」…予想を確かめるための「調べ方」や「作り方」を考えよう。
- (3) 「準備」…調べるために何が必要か。準備するものを考えよう。
- (4) 「計画」…調べていく「順番」や調べる「場所と時間」などの予定を立てよう。
※調べるときに「気をつけること」を確かめよう。(安全第一だよ！)
→池や川などのきけんな所には、近づかない。かならず家の人といっしょに！



③準備する…必要なものをそろえよう！

- 必要な「材料」や「資料」、「道具」などを「準備」しよう。





④調べる・よく見る・作る…さあ、^{しっけん}実験・^{かんさつ}観察・ものづくりのスタート！

- 観察や実験の結果や気づいたことなどは、ノートに細かく^{きろく}記録しておこう。
- できるだけ^{なんど}何度もくり返し^{かえ}調べよう。(このくり返しが、^{せいかく}正確さにつながるよ。)
- うまくいかないときは、その^{げんいん}原因を考えて、調べ直そう。
「どうして、うまくいかなかったのか？(原因さがし)」
「どこが、いけなかったのか(実験方法や作り方の見直し)」
- 「^{けっか}結果」が「^{よそう}予想」と違ってても記録しておこう。(ここからが、^{せかい}本当の研究の世界！)



実験・観察のヒント

科学の“目”でみてみよう！

- ☆^{ほか}他のにているものと^{くら}比べたり、一つのことを、時間をおいて調べたりしよう。
- ☆実験・観察の「原因」や「結果」が、今までの「学習」や「生活」にどのようにつながるか考えてみよう。
- ☆実験・観察の「そろえるところ」と「^か変えるところ」を^{くべつ}区別しよう。
- ☆1つのことを色々な面から考えて、予想を立てたり、見通しを立てたり、^ひ振り返ったりして解決方法を考えよう。



⑤まとめる…せっかくの研究^{せいか}成果。しっかりとまとめよう！

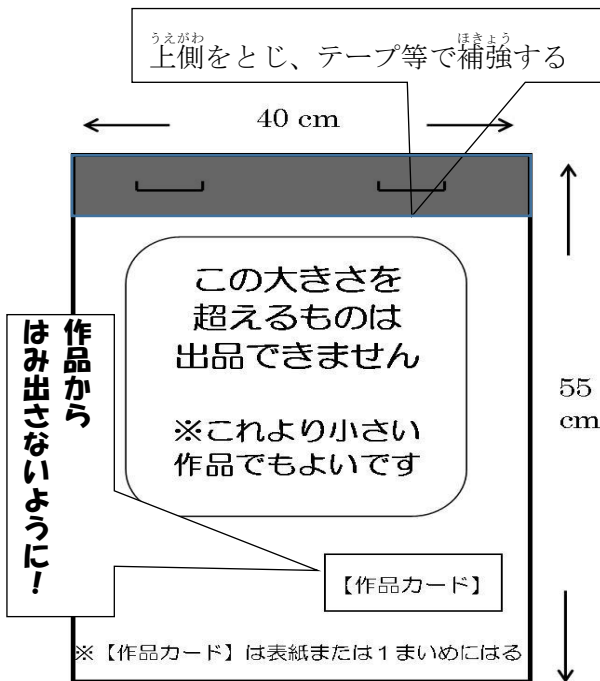
- (1) ^{ひょうし}表紙をつくる。(「テーマ」「学校名」「学年」「名前」を書き、「^{さくひん}作品カード」をはろう)
- (2) 「研究したい！」と思った^{りゆう}「理由・きっかけ」を書く。(研究のスタート地点を忘れず！)
- (3) どのような結果になるか。自分の^{さいしよ}最初の「予想」を書く。(予想と結果がちがってもOK！)
- (4) 実験・観察したことを、^{じゆん}順に^{せいり}整理して書く。
→^{しやしん}写真や絵、表・グラフなどを使って、分かりやすくしよう！
- (5) 実験や観察の「結果」を書く。
- (6) 研究して「分かったこと」「気づいたこと」「考えたこと」「次に調べたいこと」などを“自分の^{ことば}言葉”で書く。
→実験・観察を通して研究してきたことを自分なりの言葉で考え、まとめよう。
→「知らないことがあることに気づく」ことにも大きな^{かち}価値があります。
- (7) 使った本や、インターネットのページ、協力してくれた人などを書く。

見る人・読む人のことを考えて！



<応募の決まり>

- ①作品の内容「自然科学」を対^{たい}象^{しょう}とした調査・研究に関する作品（1人1点）
- ②作品の形式



※紙は横向きでもよいです

【作品の形式や規格について】

<大きさ>

※研究報告は、**模造紙1/4**（55cm×40cm程度）を越えない大きさでお願いします。

枚数が多くなるときは、重ねてとじてください。（その時は、左図のように上側をとじてください。）

<字の大きさやレイアウト>

※少し遠くから見ても分かるくらいの字の大きさで、丁寧に**横書き**で書きましょう。（題字や見出し、吹き出しなどは、見やすい工夫をして下さい。）

<科学工作・標本の場合について>

※科学工作・標本なども、そのまま展示します。

（壊れたり、無くしたりして困るものは、出品しないで下さい。予防に努めますが、責任がとれません。）

→ケースに入れて、触られないようにする。

動いている様子や作品の特ちょうが分かる様子などの写真を撮って貼っておくなどの工夫をして下さい。

※出品する場合には、一つ一つに必ず名前を書いてください。（紛失防止のため。）なお、科学工作・標本にも、レポートを忘れずにつけてください。

一人でも多くの作品を展示するため、この大きさを定めていますので、みなさん、ご協力ください。なお、上記の規格を守っていない作品は、総合かがく展に出品することができませんので気をつけてください。

また、出品については校内での審査があります。

「作品カード」（切り取って使います）

右の「作品カード」は、「表紙があるもの」は、表紙に貼って、「表紙のないもの」は、1まい目「作品からはみ出さないように」はってください。

第55回 藤沢市総合かがく展 【小学生の部】			
作品名			
ふりがな			
出品者氏名			
学校名		学年	年

<作品審査・表彰について>

総合かがく展に出品された作品は、次のように表彰されます。

◎各学校から選ばれ、会場に展示される作品すべてに与えられるもの
○入選

◎入選作品のうち、各学校から賞の候補として推薦された作品に与えられるもの
○奨励賞 小学生の部：各学校割り当て総出品数の1割程度(1・2年生を除く)
中学生の部：各学校3～5点程度

(推薦された作品は、総合かがく展審査員による審査の対象となります。)

◎推薦作品のうち、総合かがく展審査員による審査の結果与えられるもの

【小学生の部】

- 最優秀賞 中・高学年から1点程度
- 優秀賞 中・高学年からそれぞれ5点程度

【中学生の部】

- 最優秀賞 全作品から1点程度
- 優秀賞 各学年から3点程度

【特別賞】(ふさわしい作品がある場合のみ)

まつもとたけと
○松本文人賞 藤沢の自然に関する調査研究において、すばらしい功績が認められる作品。小中全作品の中から1点。

かんきょうとくべつ
○環境特別賞 環境保護や省資源等に関する調査研究において、すばらしい成果が認められる作品。小学校・中学校の部各1点程度。

松本文人賞とは

松本先生は、植物・動物・地質等、藤沢のありとあらゆる自然調査に生涯を捧げられた、藤沢市立中学校の理科の先生でした。勤務のかたわら、センター刊行の「藤沢の自然」シリーズ等たくさんの出版物を手がけられるなど、自然科学に関する数多くの業績を遺しつつ、2002年10月に享年53歳で永眠されました。

先生の活躍にちなみ、総合かがく展出品作品の中で藤沢の自然に関して自身の五感を駆使し、自分の足で調査するなど、素晴らしい調査研究の成果を上げた優秀な作品に対して贈られるものです。

※入選・各賞等は、重複しないものとします。

※最優秀賞・優秀賞等の受賞者には、受賞者発表後、「総合かがく展研究集録」作成のための原稿作成をお願いしています。

※過去に出品された作品(他団体への出品を含む)を丸写し、出品することは著作権等の侵害にもつながります。絶対にやめましょう。

※引用(本や図鑑、インターネットなどの文章をそのまま書き写して紹介すること)するときには、その文章を「」(カギカッコ)でくくり、著者・出版年・タイトル・ページが分かるようにしましょう。

※なお、作品、氏名はインターネット等で公開されることがあります。了解の上お申し込みください。